

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
作成 平成21年12月15日

化学物質等のコード : 7491-0736

化学物質等の名称 : ふっ化インジウム()

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類の基準に該当しない。
危険性 : 非危険物、可燃性、引火性なし、常温では安定である。
有害性 : 眼、皮膚及び粘膜を刺激する。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : ふっ化インジウム() 別名:ふっ化インジウム
成分及び含有量 : 99%
化学式または構造式 : InF_3
分子量 : 171.81
官報公示整理番号(化審法): (2)
CAS No. : 7783-52-0
危険、有害成分 : ふっ化インジウム()

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分間以上洗浄した後、医師の診察を受ける。
洗浄の際には、まぶたを開いて眼球のすみずみまで水が行き渡るようにする。
吸入した場合 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、直ちに医師の診察を受ける。
皮膚にふれた場合 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。多量の水又は微温湯を流しながら洗浄する。必要に応じて石鹼などを用いて十分に洗い落とす。
飲み込んだ場合 水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 本品は不燃性に近いものである。
火災時移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
移動不可能な場合は周辺を水噴霧で冷却する。
消火剤 粉末、二酸化炭素、泡消火器、水など。

6.漏出時の措置

作業の際には保護具を着用し、掃き取る、真空で吸い取るなど、できるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。この際、風下では作業しない。
漏出物は容器に出来る限り集めた後、大量の水で洗い流す。この場合、濃厚な液が河川等に排出しないよう十分注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意
酸類との接触を避ける。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
局所排気装置のある場所で取り扱う。
取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散させないようにする。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱をしない。
保管上の注意

密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会 設定されていない。 ACGIH TLV-TWA 設定されていない。
設備対策	作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
保護具	保護眼鏡 保護眼鏡。状況に応じ保護面。 保護手袋 ゴム手袋等。 呼吸用保護具 状況に応じ防毒マスク、簡易防毒マスク等。 保護衣 保護衣。状況に応じ前掛け、長靴等。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性	無色の結晶又は結晶性粉末。
融点	1170
比重	データなし
沸点	1200
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
溶解度	水に不溶
引火点	データなし
発火点	データなし
爆発範囲(爆発限界)	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定。 酸化剤との接触に注意する。
自己反応性・爆発性	データなし
自己反応性	データなし
混合危険性	データなし
避けるべき条件	データなし
危険、有害な分解生成物	データなし
その他	データなし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性	
急性毒性	データなし
亜急性毒性	データなし
慢性毒性	データなし
刺激性(皮膚、眼)	: 眼に入ると、眼が刺激される。
感作性	: データなし
変異原性	: データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	: データなし
皮膚腐蝕性	: データなし
がん原性	: データなし
生殖毒性	: データなし
催奇形性	: データなし
暴露による影響(単回、反復、連続)	: データなし
その他	: データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	: データなし

12. 環境影響情報

分解性	: データなし
蓄積性	: データなし
魚毒性	: データなし
漏洩・廃棄などの際は、環境に影響を与える危険性があるので、取扱いに注意する。	

13. 廃棄上の注意

排水溝には絶対に流さないこと。
産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制
陸上輸送 : 規制なし
海上輸送 : 規制なし
航空輸送 : 規制なし
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当

15.適用法令

労働安全衛生法 法第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき有害物 No.58
化学物質管理促進法(PRTR法) 第一種指定化学物質 No.44
(改正前PRTR法: 第二種指定化学物質 No.9)

消防法 非該当
毒物及び劇物取締法 非該当
船舶安全法(危規則) 非該当
航空法 非該当
水質汚濁防止法 有害物質「ふっ素及びその化合物」
土壌汚染対策法 特定有害物質「ふっ素及びその化合物」

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共立出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。